



文部科学大臣
萩生田幸一様

一般社団法人大学教育学会
会長 山田礼子

コロナ禍に直面する中、文部科学行政におかれては様々な COVID-19 感染対策にご尽力いただいておりますことに対し敬意を表します。

一般社団法人大学教育学会（以下、「本学会」という）は、大学教育に関わる知の交流や実践の革新をめざす学術組織であり、大学教育に関するパイオニア的学会です。本学会は、1979 年 12 月に「一般教育学会」として発足しましたが、1991 年の大学設置基準（文部省令）の改正により科目区分としての「一般教育」が廃止されたことを受け、1997 年 6 月「大学教育学会」に名称を変更しました。知識基盤社会が進展し、大学教育の果たす役割の重要性が再認識されるなかで、大学教育の改革に関して、いわゆる現代化を推し進めるとともに、本来的な人間形成機能の再生をめざして学会活動を行っています。広範な大学教職員が参加し会員数は 1300 名、機関会員（大学等）200 を超える学会です。教員・職員等の様々な立場、また、人文社会科学・自然科学・医療系・複合領域等の様々な専門領域、そして、各大学でのカリキュラム運営や質保証、FD・IR などの大学教育全体の改善に取り組まれている多様な会員で構成されております。

このたび本学会では、2020 年に発生したコロナ禍の下で、大学教育にどのような課題が生じているのか実態把握し、これからの日本の大学教育のあり方を示すため、会員を対象としたアンケート調査を実施しました。

本調査からは以下のことが明らかになりました。全国の大学におきましては、感染症対策に最大限の注意を払いつつ、遠隔授業や、対面授業と遠隔授業の組み合わせによって、学生の学習機会と学修成果を最大化すべく全力で取り組んでおります。中でも教育活動の前線に立つ教職員は、コロナ以前と比べて、授業準備は 83.4%が、課題・レポートの採点添削は 67.6%が「以前より増えた」とする一方、自身の研究については 67.8%が「減った」としており、研究時間を減少させつつも、懸命に学生の指導・支援に取り組んでおります。

しかしながら、各大学や個別教職員による対応には限界があり、行政のご指導、ご支援に期待することも多くあります。今後、このような社会情勢下で、大学に期待される教育・研究の実現のためには、“ポストコロナ時代に向けて教育改革の成果を十分に発信できる教育・研究環境づくり”に格段のご配慮とご支援を賜りたく、調査結果を踏まえて下記の事項につき要望申し上げます。

記

「コロナ禍における大学教育の質保証についての要望」

1. 生活困窮学生への支援

すでに様々な就学支援を実施していただいておりますが、コロナ感染症拡大下、今なお生活に困窮している学生は多く、特に留学生に対する支援策の拡充の取り組みをご検討いただきたい。

2. オンライン授業のための環境整備

コロナ禍を契機に急速に進みつつある、オンライン活用による教育のデジタル化をさらに推進し、状況が悪化した場合に備えるためにも、オンライン授業の受講を容易にするため、大学構内での Wi-Fi 環境の整備などに対する支援の検討をお願いしたい。

3. 学内の安全対策支援

With コロナ状況における安全対策を万全なものとするため、サーモグラフィーや PCR 検査等を大学内で取り組もうとする大学を支援していただきたい。

4. オンライン授業についての規制・基準の見直しと教育方法開発への支援

オンライン授業や教育のデジタル化推進に向け、教材作成にかかる著作権等の知的財産権についてさらなる規制緩和の検討をお願いしたい。また、オンライン授業について卒業要件単位にどの程度組み入れるかについての再検討と、質保証のためのガイドラインの作成をお願いしたい。本学会としてもガイドライン作成についてご協力は惜しまない所存です。

5. 教職員の負担超過に対する配慮

教職員のコロナ対応による負担増大に対し、経済的に困窮する学生のアルバイト活用やペイド・インターンシップとしての機会創出も含め、教材作成や対面・オンライン、あるいはそのハイブリッド教育の実施等で活用できる補助人材が得られるように財政支援をしていただきたい。

6. 教職員の研究推進のための支援

研究時間が「減少した」と教員の 67.8%が回答しているように、コロナ禍により、大学教員は研究時間を減少させて教育・学生への指導・支援を行っています。研究を推進することは、日本の高等教育のグローバルな地位の維持向上という意味でも、今後において優秀な留学生を確保するうえでもきわめて重要な課題であることに鑑みて、コロナ禍における研究推進のための支援策を検討していただきたい。また、科学研究費の研究期間の延長手続きの簡素化など、教育研究活動が正常化するまでの間、特段の配慮をお願いしたい。

以上

令和2年12月17日

一般社団法人大学教育学会

会長 山田礼子

副会長 松下佳代

常務理事 夏目達也

同 佐藤浩章

同 濱名 篤

(以上、執行役員)